

# 社会福祉法人 ながのコロニー 平成28年度 事業報告書

## はじめに

急速な少子高齢化、地域社会の変容等により福祉ニーズが多様化する中、社会福祉法人が備える公益性や非営利性に見合う経営組織や財務規律を実現し、国民に対する説明責任を果たすとともに、地域社会に貢献するという社会福祉法人の本来の役割を果たすため、平成28年3月31日社会福祉法等の一部を改正する法律が公布され、順次施行されました。

主な改正点である「経営組織のガバナンスの強化」では、議決機関としての評議員会を必置とし、役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規定の整備等を行い、今日の公益法人に求められる内部統制の機能を十分果たせる仕組みとする。「事業運営の透明性の向上」では、財務諸表、現況報告書等の公表に係る規定の整備を行い、「財務規律の強化」では、内部留保の明確化、社会福祉事業等への計画的な再投資を行う。「地域における公益的な取組を実施する責務」では、社会福祉事業及び公益的の事業を行うに当たって、無料又は低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定したものです。

改正内容については、当法人でも定款等の一部改正を行い、新評議員等の選任、理事の新体制に向け準備を行いました。今回の社会福祉法等改正の主要部分が、平成29年度からスタートしましたので、社会福祉法人が社会から求められている適切な法人経営に努めてまいります。

3施設の経営状況については、入所利用者が減少し、自立支援給付費が減少する中、効率的な施設運営を目指すとともに、ワークサポート篠ノ井では、利用者の状況や状態を把握し、意向を確認しながら、利用している事業の目的に応じ必要な支援、介助を行いました。該当の方には、これからの暮らし方を自ら選択できるよう、介護保険施設やグループホームなどの見学を行い情報提供に努めた結果、他施設やグループホーム利用に移行された方もいました。

ハートフル五明では、高齢化に伴う身体機能の低下及び重度化が進み介助や支援が増える中で、利用者の状況、状態等を支援員、看護師、栄養士が毎日の健康確認やミーティングにより情報の共有を図り、統一した支援内容により安心して充実した生活が過ごせるよう努めました。

はあてい若槻では、利用している事業の目的に応じ充実した利用となるよう、年間を通して一定している作業に加え、新たな作業に取り組むことで安定した工賃の確保ができました。また、創作活動では、新たな内容を盛り込むなど幅広く取り組みました。

長野福祉工場では、印刷部門の印刷・制作担当者及び営業担当者の補充・確保が課題となっています。

長野福祉工場の事業活動収支は、前年度より約1,889万円悪化し、約3,009万円の差損となりました。印刷事業においては、減価償却費の算定の見直しに伴う減価償却費の増額の影響により、また、縫製事業においては、仕入れ、外注加工費の増額の影響により、印刷・縫製・特例の合計では前年度より約2,119万円悪化し、約4,386万円の差損となり、非常に厳しい決算となりました。福祉サービス事業においては、利用者数の減少・利用率の低下により訓練等給付費収益が減少しましたが、約1,376万円の差益を確保しました。

## I 法人本部

### 1 給与・労務・人事管理の推進

最低賃金の引上げにより、福祉工場の基本給と施設職員の基本給との格差が生じたことから、懸案であった基本給基準表の改定を行いました。また、ハートフル五明において日常的な関わりや介助が増加していることから、職種手当にハートフル五明の夜間勤務手当を追加しました。

### 2 職員研修の実施

職員の資質向上を図るため、職員研修実施要領に基づき、研修会等への積極的な参加と職場研修の充実に努めました。また、ゼンコロや各加盟法人と連携し、会議や研修へ職員を派遣しました。

職員の資格取得を奨励するため、社会福祉士の受験資格取得の通信教育受講者1名に資格取得補助制度に基づき補助しました。

### 3 防災訓練の実施

消防計画に基づき、施設利用者等の安全確保のため、篠ノ井施設・若槻施設とも、それぞれ年2回の防災訓練を実施しました。篠ノ井施設の秋の訓練においては、篠ノ井消防署指導の下、昼間の火災のほか夜間の火災を想定し、夜勤者2名及び五明区住民の協力による訓練を行いました。若槻施設においては、若槻分署指導の下、はあてい若槻、長野福祉工場それぞれで訓練を実施し、はあてい若槻では、徳間・若槻東条・上野各地区住民の協力を得て行いました。

### 4 地域交流の実施

8月には、篠ノ井施設で盆踊り・納涼パーティー（エレキギター、介護体験談）を実施しました。地域住民の方々や後援会員様にもご参加いただき、利用者の皆さんと共に楽しく交流を図りました。

10月には、恒例のコロニー祭、コロニーまつりを篠ノ井・若槻両施設で実施しました。

篠ノ井施設での第39回コロニー祭では、保育園児の鼓笛、小学生の和太鼓、チアダンス、高校生の書道パフォーマンス、大学生によるソーラン節、松代甲冑隊による寸劇、ジャズ演奏等で盛り上げていただき、模擬店や障害者施設の出店、地元農産物の直売など、大勢の皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。

若槻施設での第7回コロニーまつりでは、上野地区神楽保存会や若槻音頭・新町甚句保存会の皆様の演技、小学生・高校生の合唱、大道芸パフォーマンス、キッズダンスなどで盛り上げていただき、模擬店や障害者施設の出店など、大勢の皆様にご参加いただき盛大に開催することができました。また、長野福祉工場の仕事を知っていただくため名刺作成コーナーを設けました。

その他、地元主催のイベント等へは、日頃の日中活動で作っているこんにやく・陶芸などの自主製品を販売するため積極的に参加しました。

### 5 情報公開

法人の事業報告及び決算内容や行事内容等を随時ホームページや広報誌へ掲載し、情報公開に努めました。

### 6 苦情相談

施設利用者宅へ無記名の手紙が届き、不安を感じる家族から申し出がありました。法人では、行政への報告、職員への指導等を行いました。今後も職員研修等を随時行うほか、利用関係者及び職員間のコミュニケーションを円滑にして、相互理解を図っていくことで、安心して利用できる施設を目指してまいります。

## Ⅱ ワークサポート篠ノ井（指定障害者支援施設）

【利用状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)】

施設入所支援	生活介護	就労移行支援	就労継続支援 B 型	短期入所
29 名	46 名	2 名	10 名	—

それぞれのサービスを行うに当たり、利用者の意向を確認しながら必要な支援を行いました。

### 1 施設入所支援

施設に入所している利用者個々の状況に応じ、必要で適切な支援と介助を行い安定した生活を提供するよう努めました。

### 2 生活介護

適切な支援と必要な介助及び相談援助を行うことで、利用者の思いを確認し、張り合いのある日中サービスを提供しました。

日中活動支援の生産活動については、やりがいや意欲、責任感を持って作業に取り組んでいただきました。作業種目の検討を行い、事業者との連絡を密に取り連携を深めることで、作業量の安定と工賃の確保に努めました。

生活面については、その人らしい生活に向けた支援と、快適な住環境や安心して過ごせる暮らしを提供するよう努めました。他施設や介護保険施設への入所希望者、グループホームへの利用希望者に対して見学や入所手続などの支援を行い利用に結び付けることができました。

行事については、小グループに分かれて実施したグループ行楽や宿泊旅行、全体での行事など内容も含め皆さんに楽しんでいただきました。

健康面については病気予防のための身体状況を把握し必要な支援を行いました。また、毎朝のストレッチ体操は継続して実施することができました。口腔ケアの出張講座については実施することができなかったため、次年度実施することになりました。

衛生管理については、全居室の清掃を行い、それぞれに意識を持って整理整頓ができるよう支援しました。また、浴室掃除、トイレ掃除、ごみ捨て、寝具交換、インフルエンザやノロウィルスの感染予防のための手すり消毒等を行いました。

機能維持訓練については、定期的リハビリクリニックを受診し訓練内容の見直しを行いました。ADL が低下した方については、リハビリクリニックを受診しリハビリメニューの作成と機能訓練の支援を行いました。

申請事務及び手続代行業務については、障害福祉サービス利用申請、補装具支給申請、障害支援区分認定申請、要介護認定申請等を行いました。

### 3 就労移行支援

利用される方の状況やニーズを確認し、就職にこだわらず生活リズムを整え、実習を通して様々な経験をするなど、その方に合わせた取組を行いました。施設外実習では、レストランの清掃や県セルフセンターとのつながりから野菜の収穫を行い、可能性と経験という点から生活介護と就労継続支援 B 型の利用者の中からも数名の方に取り組んでいただき、それぞれの課題などが確認できる良い機会になりました。

今後も就職を目指す方やそれぞれの課題や経験をするなど、利用者の思いを確認しながら進めてまいります。

【外部の訪問など】

事業所見学	学校訪問	企業訪問(見学含む)	関係機関訪問
1 か所	4 か所	2 社	1 か所

4 就労継続支援 B 型

生産活動では軽作業を中心に取り組み、生活面では利用者の思いなどを確認し支援を行いました。

【作業実績】( ) 書きは、事業計画における工賃目標

区分	年間売上額	工賃(総額)	工賃(平均月額)
生活介護	14,270,607 円 (12,968,000 円)	9,821,522 円 (9,900,000 円)	17,665 円 (16,500 円)
就労移行	451,790 円 (200,000 円)	451,790 円 (180,000 円)	18,072 円 (7,500 円)
就労継続 B 型	1,969,950 円 (1,632,000 円)	1,969,950 円 (1,632,000 円)	19,898 円 (17,000 円)
合計	16,962,347 円	12,243,262 円	18,005 円

5 短期入所事業

利用状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

延べ人数	延べ日数
74 名	212 日

利用する方の状況に合わせたサービスの提供と個々に必要な支援を行いました。通所利用の方には、自立支援に位置付けた対応ができました。

6 保健

(1) 検診

ア 事業所内検診を春(4月)及び秋(10月)に血圧測定、検尿を実施しました。

イ 嘱託医による定期診察を月 1 回実施しました。

ウ 今年度から嘱託医が変更になり、血液検査及び胃カメラ、腹部超音波検査については、嘱託医の判断により必要に応じて行いました。

エ 結核検診を 7 月に実施しました。精検者は 1 名でした。

オ 心電図検査を 1 1 月に実施しました。疾病上医療機関での検査が必要な方以外は、健康づくり事業団に依頼し精検者はいませんでした。

(2) 処置

ア 血圧測定は毎週 1 回の他に症状に応じて行いました。測定時に脈拍の異常があった方については、嘱託医やかかりつけ医に相談し適宜対応しました。体重測定は毎月 1 回行い健康管理に努めました。

イ 循環障害や足指間のむれにより足の皮膚炎をおこしやすい方については、処置を継続し、症状の早期発見と悪化予防に努めました。

ウ 臀部の褥瘡 1 名。入院治療し退院後も処置を継続しました。

(3) 投薬

嘱託医及びかかりつけ医からの定期投薬は 30 名、服薬管理の方は 6 名、うち投薬カレンダーを使用している方は 2 名いました。

(4) 感染症対策

過敏反応の 1 名を除きインフルエンザの予防接種を全員が実施しました。感染者は 1 名で、高熱のため入院となりました。うがいと手洗いの徹底と流行期の外出の自粛を行いました。また、作業前の体調確認と検温を行い感染拡大の予防に努めました。

(5) 入院状況

(単位：人)

内科	外科	皮膚科	精神科	計
0	2	0	0	2

7 給食

- (1) それぞれの身体状況に応じた食事を提供し、健康の維持と疾病の重症化予防に努めました。看護師と連携を図り主治医の指示や体重変化に注意して食事内容の変更を行い改善に努めました。
- (2) 嗜好調査を含めた個別面談を通して利用者の方とのコミュニケーションを図り、食事全般についての要望を取り入れ、食習慣等の改善に繋げました。利用者代表の方々との定期的な話し合いが実施できず、意見や要望を聞くことができませんでした。
- (3) 常時欠食届を確認し、欠食の多い方については、見直しを行い必要な支援を行いました。
- (4) 食事は季節感を感じていただけるよう旬の食材や行事食を取り入れ、献立がマンネリ化しないように、また、安全で安心な食事提供に努めました。
- (5) 委託先スタッフと定期的なミーティングを行い常に連携をとることで、個人ごとの情報を共有して、より円滑な給食業務と衛生管理を行うように努めました。

【施設整備実績】

購入設備	数量	金額	備考
支援費・会計用ソフト	1 式	1,497,718 円	
支援費・会計用サーバー	1 式	259,740 円	
給食栄養管理ソフト	1 式	199,800 円	

Ⅲ ハートフル五明（指定障害者支援施設）

【利用状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)】

施設入所支援	生活介護
27 名	29 名

1 日常生活上の支援

年間を通じて、朝の居室巡回で健康確認を行い、感染症の予防のための手洗い・うがいを励行しました。特に健康面で確認が必要な方については、看護師と連携しながら検温・血圧測定で体調変化の早期発見に努めました。

健康確認と合わせて、朝の歯磨き介助、入れ歯の着脱確認など口腔ケアも引き続き行いました。

インフルエンザ発症（感染者6名）の際には、個室隔離・寮隔離を行い、全利用者の検温等で感染拡大の防止に努めました。

衛生保持としては、居室清掃、シーツ交換、更衣介助、洗濯、入浴介助などの支援に努めました。特にリハビリパンツ・おむつ利用の方の衛生保持のため毎日の着替え、パンツ交換等の確認を行いました。

外出としては、創作活動での買い物外出のほか、行事として松代ロイヤルホテルでの観劇鑑賞を行いました。職員の欠員や感染症対応などにより、例年より外出の機会が少なくなっていました。

## 2 日中活動の支援

創作活動では、書初めや寮内に季節を意識した飾り付けを行い、野菜作りを行い取れた芋での焼き芋、また、バレンタインクッキングとしてお菓子作りなども行いました。その他、コロニー祭に向けたハンドベルの練習を行いました。

生産活動では、自主生産品として編み物・ルームバンド・ゴム編み座布団・陶芸を日中活動として取り組み、完成した作品はバザー、もんぜんぷら座での販売を行っています。自主生産品の販売方法やラッピング、制作方法などは検討中です。

活動内容について、皆さんの声やアイデアを取り入れながら、作業のみではなく、楽しみや軽い運動などいろいろな面から検討していきます。

## 3 保健

### (1) 検診

ア 事業所内健診を春（4月）及び秋（10月）に血圧測定、検尿、視力測定（秋のみ）を実施しました。

イ 嘱託医による定期診察を月1回実施し、7月には内科検診を実施しました。

ウ 結核検診は7月に行い、精検者はいませんでした。

エ 血液検査及び尿素呼気検査は、嘱託医の指示を受けて実施しました。

オ 胃カメラや腹部超音波は、嘱託医及び主治医の指示のもと、必要とされる方のみ実施しました。精検者はいませんでした。

### (2) 処置

ア 褥瘡の処置は、定期的に受診し、医師の指示のもと毎日支援員、看護師で処置を行い、感染悪化等することもなく経過しました。

イ 頭部や全身の皮膚疾患は、毎日観察を行い、軟膏を塗布しました。

ウ 血圧測定は原則週1回、体重測定は毎月1回行い、健康管理に努めました。

エ 排泄全介助の方に対して、保清及び感染予防の目的にて陰部洗浄を毎日支援員、看護師で施行しました。

オ ベッド上生活で寝たきり状態の方には枕等を使用し体位変換を定時に実施し、褥瘡の予防に努めました。

### (3) 投薬

嘱託医による定期投薬は26名、服薬管理は18名でした。服薬管理については、内科以外の投薬（臨時薬含む）も多く細心の注意を払いました。

### (4) 感染対策

インフルエンザの予防接種は、全員が行いました。感染者は6名でした。隔離者への対応を徹底し、感染拡大を防ぐことができました。また、高齢者肺炎球菌予防接種の対象者が1名おり接種を行いました。

## (5) 入院状況

(単位：人)

内科	脳外科	精神科	泌尿器	計
3	1	2	1	7

## 4 給食

- (1) 日々看護師・支援員と連携を図り、利用者それぞれの身体状況に応じた食事を提供し、健康の維持と疾病の重症化予防に努めました。また、主治医の指示のもと、摂取状況や体重変化に注意して食事内容の変更を行い改善に努めました。
- (2) 嗜好調査を兼ねた面談を通して利用者の方とコミュニケーションを図り、食事全般についての要望の取り入れや食事形態を確認することで、安全に楽しく食事ができるよう努めました。利用者代表の方々からの定期的な意見や要望の取り入れはできませんでした。
- (3) 昼食前に嚥下体操を行い、嚥下機能の低下予防に努めました。
- (4) インフルエンザの発生時には、感染が拡大しないよう事業所ごとに食事時間や場所を変えて食事を提供しました。
- (5) 食事は季節を感じていただけるよう、旬の食材や行事食を取り入れ、献立がマンネリ化しないように努めました。
- (6) 委託先スタッフと定期的なミーティングや常に連携をとることで、利用者の体調等の情報を共有して、より円滑な給食業務と衛生管理を行うように努めました。

## 【施設整備実績】

購入設備	数量	金額	備考
支援費・会計用ソフト	1式	1,488,754円	
支援費・会計用サーバー	1式	259,740円	
給食栄養管理ソフト	1式	199,800円	
シャワー用ストレッチャー・椅子	各1台	342,800円	

## IV はあてい若槻 (多機能型事業所)

## 【利用状況(平成29年3月31日現在)】

生活介護	就労継続支援B型
14名	21名

新規利用者が1名、退所者が1名で、利用者数の増減はありませんでした。利用希望の見学は何件かありましたが、ご希望に沿えず利用には結びつきませんでした。

## 1 支援サービス

## (1) 生活介護

自主生産品については、新たな手芸も始め、コロニーまつり等での販売に結びつけられるよう取り組み、充実した日中活動を行うことができました。

創作的な活動では、定番の音楽療法やお話しの読み聞かせのほか、料理作り、誕生会等を行いました。バスでのお出かけは、博物館見学や妙高苗名滝の散策等、新

たな内容で取り組むよう努めました。

(2) 就労継続支援 B 型

長野福祉工場や外部事業者から受注される印刷物の仕分け、丁合、梱包の作業及び縫製の作業は、年間を通して数量、入荷時期が一定となっています。そのため、その他の時期に他の作業を受注することに心がけ、年間を通して安定した作業が提供できたことで、安定した工賃を支払うことができました。

【作業実績】( ) 書きは、事業計画における工賃目標

区分	年間売上額	工賃 (総額)	工賃 (平均月額)
就労継続支援 B 型	5,156,733 円 (5,172,000 円)	4,852,889 円 (4,884,000 円)	19,106 円 (18,500 円)

2 年間行事

ほぼ予定どおりに実施することができました。利用者の希望に沿えるよう楽しい企画に努め、大勢の方に参加していただきました。月に 1～2 回の土曜レクリエーションも季節に合わせた企画等により好評をいただきました。

【施設整備実績】

購入設備	数量	金額	備考
支援費ソフト	1 式	675,268 円	
支援費・会計用サーバー	1 式	182,520 円	
結束機	1 台	626,400 円	
食堂カーテン	1 式	143,640 円	

V 地域生活支援センターコロニー (共同生活援助事業所)

【利用状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)】

施設名	利用者数	バックアップ施設
さいなみほ～む	3 名	ワークサポート篠ノ井
グループホームせはらだ	3 名	ワークサポート篠ノ井
うわのほ～む	4 名	はあてい若槻

担当支援員及び世話人が連携を取りながら関わることで、利用者は安定した状況で地域生活を送ることができました。

国庫補助を受け瀬原田地区にグループホームを整備し、平成 29 年 3 月 1 日にグループホームせはらだを開所し、同月 16 日から生活を始めることができました。

うわのほ～むの利用者数は、長野福祉工場利用者 1 名が入居し、10 月から 4 名となりました。

【施設整備実績】

購入設備	数量	金額	備考
グループホームせはらだ 改修工事	1式	9,104,400円	国庫補助金 6,814,000円 自己資金 2,290,400円

VI あいくる（指定相談支援事業所）

【利用状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)】

登録者	障害者	障害児
	155名	17名

計画相談については、行政を含め関係機関との連携を図りながら業務に当たることができました。

年度後半には、地域移行・定着支援相談にも取り組みました。地域住民などとの連携や親族への対応については、更に検討していきます。

VII 長野福祉工場（就労継続支援 A 型事業所）

利用者状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

就労継続支援 A 型
36名

印刷担当者の補充ができないまま、オフ輪及びオンデマンド印刷機を中心に対応に努めましたが、印刷担当者の確保・育成は、営業担当者及び制作担当者と同様に今後の課題となりました。

事業活動収支は、前年度と比べ、約 1,889 万円悪化し、当期活動増減差額は、約 ▲3,009 万円となりました。印刷事業においては約 1,288 万円悪化、縫製事業においては約 837 万円悪化、特例事業と合わせ約 2,119 万円悪化し、約 4,386 万円の差損となりました。福祉事業においては、利用者数の減少により訓練等給付費収益が減少しましたが、雇用報奨金が算定単価の改定により増加したことなどにより、前年度より約 229 万円改善し約 1,376 万円の差益となりました。

資金収支は、前年度より約 1,060 万円悪化し、当期資金収支差額合計は、約 ▲1,551 万円となりました。内訳は、就労支援事業及び障害福祉サービス等事業の事業活動において約 1,064 万円の不足、施設整備等において約 770 万円の不足、その他の活動において約 283 万円の剰余となりました。

1 就労支援事業

(1) 事業実績

印刷部門は、前年度と比べ、売上高は約 64 万円減少し、外注加工費等の増額もあり加工高は約 328 万円減少しました。サービス活動の費用は、外注加工費等が約 264 万円増加し、また、減価償却費については経理規程に基づき残存価額を取得価額の 10%から 1 円に変更し再計算をしたことから約 998 万円増加したため、サービス活動の収支は、約 1,273 万円悪化し約 3,004 万円の差損となりました。

縫製部門は、前年度と比べ、売上高は約 1,102 万円増加しましたが、外注加工費

等が増加したため、加工高は約 295 万円の減となりました。サービス活動の収支は、外注加工費等が約 1,598 万円増加したため、約 881 万円悪化し約 1,615 万円の差損となりました。

特例部門は、売上高は減少しましたが、利用人数が減っているため支給工賃は微増となりました。

【部門別事業実績】（ ）書きは、事業計画における目標額 (単位:千円)

区分	売上高			加工高			
	当期実績	前期実績	前年比	当期実績	売上比率	前期実績	売上比率
印刷	356,070 (385,000)	356,715	99.8%	139,626 (170,000)	39.2%	142,911	40.1%
縫製	133,321 (140,000)	122,300	109.0%	25,451 (35,000)	19.1%	28,402	23.2%
特例	1,482	2,170	68.3%	1,096	74.0%	1,556	71.7%
合計	490,873	481,185	102.0%	166,173	33.9%	172,869	35.9%

## (2) 賃金・工賃

利用者の賃金総額は、約 376 万円の減少となりました。これは、延べ利用者数が減少したためです。利用者賃金の平均月額も減少となりました。これは、時間外労働が減少したこと等によるものです。

特例利用者の工賃総額は、利用者の減員により減少となりましたが、平均月額は増加となりました。

【賃金・工賃の推移】

区分	28年度	27年度	増減	増減率
賃金(総額)	62,650,023円	66,412,015円	▲3,761,992円	94.3%
賃金(平均月額)	137,390円	141,906円	▲4,516円	96.8%
特例工賃(総額)	246,602円	561,035円	▲314,433円	44.0%
特例工賃(平均月額)	20,550円	18,701円	1,849円	109.9%

## 2 障害福祉サービス事業

利用者個々の状況等の把握に努め、障害の状況を踏まえた配置及び配置転換や作業内容の変更を行い、事業所内での定着に努めました。

職業指導では、全ての部署でのマニュアル作成や標準作業の確立、作業指示による時間の管理を目指しましたが、部署によって進捗状況に差があり、次年度への課題となりました。また、就労支援事業の収益向上のための新規事業検討は進められませんでした。

### (1) 利用の状況

2名が新しく利用を開始しましたが、体調悪化による退所者2名、自己都合による退所者4名(特例1名を含む)の合計6名が退所しました。利用者数は、期首より4名減員となっており、平均利用者数、平均利用率とも減少しましたので、必要に応じた新たな利用者の採用が課題となりました。

【利用契約者数の推移】

区分	28年度	27年度	増減	増減率
期首 ( )は特例再掲	40 (2) 人	42 (3) 人	▲2 (▲1) 人	95.2%
期中最大 ( )は特例再掲	39 (1) 人	43 (3) 人	▲4 (▲2) 人	90.7%
期末 ( )は特例再掲	36 (1) 人	40 (2) 人	▲4 (▲1) 人	90.0%
延べ利用者数	8,025 人	8,748 人	▲723 人	91.7%
開所日数	242 日	242 日	0 日	100%
年間平均利用者数	33.16 人	36.15 人	▲2.99 人	91.7%
平均利用率	82.9%	90.4%	▲7.5 ポイント	—

(2) 職業指導

印刷、縫製の両事業とも経費削減の意識付けが不十分で継続課題となりました。

また、数年来の課題であるマニュアルの作成や標準業務の確立の必要性は理解されてきているが完成には至らず、人員不足のため業務分掌による OJT を進めることができませんでした。特に制作係では、いずれも遅れており、加えて人員減少による制作量の減少も新たな課題となりました。

全体的に作業手順や作業内容の不備によるミスも散見され、まだロスについては意識が薄く改善に着手されていません。次年度も業務マニュアルの補完及び技術向上の OJT を強化することとロスの削減や経費削減の意識付けを行います。

(3) 生活支援

特例利用者の希望による送迎を必要な都度行ったほか、保健相談・嘱託医の検診の補助、インフルエンザやノロウイルス注意報を受けての注意喚起などを行い、健康管理に留意するよう支援しました。インフルエンザ等の罹患者もありましたが、事業所内での大きな蔓延はありませんでした。

(4) 研修

虐待防止、ゼンコロ主催の営業研修、社会福祉士受験資格取得のための講座受講など、内部及び外部の研修等に積極的に参加し見識を深めました。

3 管理部門

業務の停滞をなくすため、複数の担当者による業務体制を進めました。また、縫製事業についても仕入れ、売上げ等の把握をこれまで以上に管理できる体制を進めてきました。

【施設整備実績】

購入設備	数量	金額	備考
ソフト用・出力用パソコン	5 台	908,280 円	
製作ソフト・支援費・会計用ソフト	1 式	292,421 円	
エアコン	1 式	315,360 円	
営業車両(更新)	1 台	1,382,400 円	リースによる購入 月額 20,736 円

名刺断裁機(きりっ子)	1台	43,848円	メンテナンス
-------------	----	---------	--------

刺繍機(ソフトを含む)及び自動丁合機は、補助金が採択されませんでしたので、見送りしました。

## VIII すまいる(指定障害児通所支援事業所、障害児自立サポート事業)

【利用状況(平成29年3月31日現在)】

登録者	小学生	中学生	高等部
	10名	5名	3名

6月から放課後等デイサービスを開始しました。お子さんとの関わりや保護者への対応については、個別支援計画に基づき、改めて支援者の共通理解を深め、意識して取り組むことができました。

## IX ふれんど(障害児自立サポート事業)

【利用状況(平成29年3月31日現在)】

区分	小学生	中学生	高等部
登録者	0名	3名	1名
実績	平均2~3名/日		

将来の当事業所利用も視野に、実習等の受け入れにも繋がるよう長野養護学校と連携し取り組みました。

## 平成 28 年度 会議及び行事等報告書

### 1 役員会等

#### (1)理事会

28. 5.25	第 1 回 理事の補充選任、労働審判について	篠ノ井施設
28. 5.25	第 2 回 平成 27 年度事業報告・決算、定款一部改正 他	篠ノ井施設
28. 7. 5	第 3 回 任期満了に伴う評議員・理事・監事選任について	ふれあい福祉センター
28. 7.10	第 4 回 理事長の互選について	篠ノ井施設
28.11.22	第 5 回 グループホームせはらだ工事、補正予算、中間決算 他	篠ノ井施設
28.12.20	第 6 回 定款の一部改正について 他	篠ノ井施設
28.12.20	第 7 回 管理職の懲戒処分について	篠ノ井施設
29. 2.23	第 8 回 評議員候補者の推薦について 他	篠ノ井施設
29. 3.21	第 9 回 平成 29 年度事業計画、予算について 他	ふれあい福祉センター

#### (2)評議員会

28. 5.25	第 1 回 事業報告・決算、定款一部改正 他	篠ノ井施設
28. 7. 5	第 2 回 任期満了に伴う評議員・理事・監事選任について	ふれあい福祉センター
28.11.22	第 3 回 グループホームせはらだ工事、補正予算、中間決算 他	篠ノ井施設
28.12.20	第 4 回 定款の一部改正について 他	篠ノ井施設
29. 3.21	第 5 回 平成 29 年度事業計画、予算について 他	ふれあい福祉センター

#### (3)評議員選任・解任委員会

29. 3. 8	評議員選任・解任委員会	篠ノ井施設
----------	-------------	-------

#### (4)監査会

28. 4. 1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設・長野福祉工場
28. 4.26	決算監査	篠ノ井施設
28. 4.27	決算監査	長野福祉工場
28.11.16	平成 28 年度中間監査(全般)	篠ノ井施設・長野福祉工場

### 2 会議及び行事等

定期開催	経営会議(毎月開催)	篠ノ井施設・若槻施設
	運営会議(毎月開催)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(月 1 回)	長野福祉工場

	環境衛生委員会(月 1 回)	篠ノ井施設
	職員会議(月 1 回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	ミーティング(月 2 回)	篠ノ井施設
	スタッフミーティング(月 2 回)	長野福祉工場
28. 4. 5	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
28. 4. 5	ワークサポート篠ノ井グループ行楽(利用者 18 名、職員 4 名)	松代方面
28. 4. 8	保護者説明会～9 日	はあてい若槻
28. 4.11	はあてい若槻お花見食事会(利用者 31 名、職員 11 名)	はあてい若槻食堂
28. 4.13	春の利用者健康診断～14 日	篠ノ井施設
28. 4.15	ワークサポート篠ノ井グループ行楽(利用者 16 名、職員 5 名)	川中島方面
28. 4.16	「境内アート小布施×苗市」出店～17 日	玄照寺(小布施町)
28. 4.19	ワークサポート篠ノ井グループ行楽(利用者 16 名、職員 4 名)	小布施方面
28. 4.23	ながのコロニー後援会 会計監査・総会	篠ノ井施設
28. 5.18	深夜業務従事者健診	篠ノ井施設
28. 5.18	防災訓練	篠ノ井施設・若槻施設
28. 5.19	もんぜんぶら座販売会(計 6 回)	長野市もんぜんぶら座
28. 5.22	「ながの軽トラ市 in 篠ノ井」出店 (11 月まで計 4 回)	篠ノ井駅前通り
28. 5.23	長野県による障害児放課後等デイサービス事業所「すまいる」の現地確認	すまいる
28. 5.27	深夜業務従事者健診	篠ノ井施設
28. 6. 9	はあてい若槻宿泊旅行(利用者 17 名、職員 8 名)～10 日	金沢方面
28. 6.23	はあてい若槻日帰り旅行 (利用者 7 名、職員 4 名)	鹿教湯温泉
28. 7. 7	第 24 回参議院議員通常選挙不在者投票	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
28. 7.11	はあてい若槻サマーパーティー(利用者 32 名、職員 11 名、後援会 1 名)	須坂市(すたみな太郎)
28. 7.14	ワークサポート篠ノ井宿泊旅行(利用者 7 名、職員 3 名)～15 日	富山方面
28. 7.14	職員定期健康診断	長野福祉工場
28. 7.19	長野市保健所による特定給食施設等巡回指導	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
28. 7.19	利用者結核検診	篠ノ井施設
28. 7.23	平成 28 年度長野県障害者技能競技大会(第 42 回ながのアビリンピック)(福祉工場利用者 3 名、はあてい利用者 1 名)	松本市(Mウイング)
28. 8. 3	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
28. 8. 4	盆踊り、納涼祭	篠ノ井施設
28. 8.14	「五明地区納涼盆踊り大会」にて自主製品販売	五明南公民館

28. 8.25	全国健康保険協会長野支部保健師による保健指導	篠ノ井施設・若槻施設
28. 9. 1	ワークサポート篠ノ井宿泊旅行(利用者 12 名、職員 5 名)～2 日	東京方面
28. 9. 2	「稲荷山養護学校 PTA バザー」にて自主製品販売	稲荷山養護学校
28. 9.14	臨時経営会議	長野福祉工場
28. 9.17	「第 1 回クラフトフェア in 北竜湖」出店～18 日	北竜湖畔(飯山市)
28. 9.24	「五明区布制神社秋祭り(宵祭り)」にて自主製品販売	布制神社
28.10. 1	第 39 回コロニー祭	篠ノ井施設
28.10. 6	秋の利用者健康診断～7 日	篠ノ井施設
28.10.12	「長養祭」にて自主製品販売	長野養護学校
28.10.19	防災訓練	篠ノ井施設
28.10.20	ワークサポート篠ノ井宿泊旅行(利用者 16 名、職員 6 名)～21 日	金沢方面
28.10.22	第 7 回コロニーまつり	若槻施設
28.10.25	防災訓練	若槻施設
28.10.27	第 36 回全国障害者技能競技大会(全国アビリンピック) (DTP 部門)福祉工場利用者 1 名 (クリーニング部門・デモンストレーション)はあてい利用者 1 名	山形市・天童市
28.10.29	「ハーモニー夢まつり」にて自主製品販売	長野市
28.11. 9	職員定期健康診断	篠ノ井施設
28.11.10	職員・利用者(希望者)定期健康診断	はあてい若槻
28.11.12	ながのコロニー後援会 役員会(臨時)	篠ノ井施設
28.11.13	「篠ノ井地区住民福祉大会」にて自主製品販売	長野グリーンパレス
28.11.16	利用者対象心電図検査	ワークサポート篠ノ井
28.11.18	「グループホームせはらだ」大規模修繕工事業指名競争入札	篠ノ井施設
28.12.22	ワークサポート篠ノ井忘年会	稲荷山温泉ホテル杏泉閣
28.12.22	ハートフル五明忘年会	篠ノ井施設食堂
28.12.29	はあてい若槻忘年会	はあてい若槻食堂
29. 1.10	利用者成人式(対象者 1 名:ワークサポート篠ノ井通所利用者)	篠ノ井施設食堂
29. 2. 2	長野市福祉監査室による指導監査	法人、ハートフル五明 ワークサポート篠ノ井
29. 3. 1	「グループホームせはらだ」開設	グループホームせはらだ
29. 3. 9	長野公共職業安定所による障害者の雇用促進法等に関する法律に基づく報告の徴取	長野福祉工場
29. 3.14	ハートフル五明日帰り旅行(利用者 10 名、職員 7 名)16,30 日 計 3 回	長野市周辺
29. 3.18	ながのコロニー後援会 役員会	篠ノ井施設
29. 3.21	ハートフル五明日帰り旅行(利用者 15 名、職員 8 名)23,28 日 計 3 回	松代ロイヤルホテル

### 3 福祉現場実習・研修受入

28. 4.13	体験実習 1 名(利用検討者)～14 日(延 2 日)	はあてい若槻
28. 5.11	稲荷山養護学校更級分教室校外実習(8 月までに延 3 日)	篠ノ井施設
28. 5.23	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～6 月 3 日(延 10 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 5.31	職場体験学習 2 名(広徳中学校 2 年生)～6 月 1 日(延 2 日)	篠ノ井施設
28. 6. 6	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～8 日(延 3 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 6. 6	社会貢献体験(ボランティア活動)1 名(カレッジオブキャリア 3 年生)～17 日(延 10 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 6.13	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～24 日(延 10 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 6.13	現場実習 1 名(長野養護学校高等部 2 年生)～24 日(延 10 日)	はあてい若槻
28. 6.13	現場実習 2 名(長野養護学校高等部 2 年生)～17 日(延 5 日)	はあてい若槻
28. 6.20	現場実習 1 名(長野養護学校高等部 2 年生)～24 日(延 5 日)	はあてい若槻
28. 6.27	体験学習 1 名(花田養護学校高等部 2 年生)～30 日(延 4 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 7. 5	職場体験学習 3 名(篠ノ井西中学校 2 年生)～6 日(延 2 日)	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
28. 7. 6	実習 1 名(日本福祉大学通信教育部学生)～8/10(延 25 日)	ワークサポート篠ノ井
28. 7.26	職場体験学習 1 名(東部中学校 2 年生)～28 日(延 3 日)	はあてい若槻
28. 8.22	実習生 1 名(キッチン CoCo 利用者)～26 日(延 5 日)	ワークサポート篠ノ井
28.10. 5	体験実習 1 名(利用希望者)7,12,14 日(延 4 日)	ワークサポート篠ノ井
28.10.12	職場体験学習 2 名(北部中学校 2 年生)～13 日(延 2 日)	はあてい若槻
28.10.17	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～21 日(延 5 日)	ワークサポート篠ノ井
28.10.24	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 2 年生)～28 日(延 5 日)	ワークサポート篠ノ井
28.10.31	産業現場等における実習 2 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～11 月 7 日(延 5 日)	ワークサポート篠ノ井
28.11. 7	産業現場等における実習 1 名(長野盲学校高等部 2 年生)～8 日(延 2 日)	はあてい若槻
28.11. 8	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 2 年生)～14 日(延 5 日)	ワークサポート篠ノ井
28.11. 8	後期現場実習 1 名(長野養護学校高等部 2 年生)～11 日(延 4 日)	はあてい若槻
28.11.14	後期現場実習 1 名(長野養護学校高等部 2 年生)～25 日(延 9 日)	はあてい若槻
28.11.15	産業現場等における実習 1 名(稲荷山養護学校高等部 3 年生)～30 日(延 11 日)	ワークサポート篠ノ井
29. 1.19	体験実習 1 名(利用検討者)	はあてい若槻